

平成30年度 第8回 岐阜県立多治見病院倫理委員会議事録

開催日時	平成30年 11月 1日 (木) 16時15分 から 16時50分
開催場所	中央診療棟 3階会議室
出席者	伊藤 淳樹、松葉 英之、石垣 智康、和田 耕三、松原 千里、 根岸 豊、大野 元嗣、 肥田 信子、堀内 正、伊藤 治彦、八田 将志
欠席者	高田 知二、川村 知子
出席状況 (参加者数/定数)	11名 / 13名

議 事

1 審査事項

・受付番号：2018-23

院内がん登録を活用した胸膜ブランクをもつ肺癌患者の実態調査

(説明者：診療報酬担当 細尾 真弓)

《審査結果》承認

(意見) CD-ROMは先方から送られるのか。

(回答) 暗号化送付との入ったCD-ROMが送付され、当院で個人情報を除いたCT画像を取り込み、暗号化して送信。

(意見) オプトアウトしておいたほうが良いと考える。

(回答) これからも研究依頼がくると考える。HPのオプトアウトの項目にCT、画像の項目を追加することで良いのか。

(意見) それで良い。改訂版とするのか・・・

(意見) 訂正されたものを倫理委員会に提出してください。

・受付番号：2018-24

レセプト及びDPCデータを用いた循環器疾患における医療の質向上に資する研究

(説明者：診療報酬担当 細尾 真弓)

《審査結果》承認

(意見) オプトアウトをしていただいて、今後は同様の案件であれば、審査の必要はなく、協力した旨を報告していただくようにしていただきたい。以前倫理委員会に諮っていないので、諮っていただいたということと、今後同様の案件があれば、今回のオプトアウトをもってパスしていただいて問題ないが、依頼があったことの報告をお願いしたい。オプトアウトの内容は事務局に提出していただくように。

2 その他

・受付番号：2018-20

わが国における小児死因究明制度の導入に関する後方視的調査 (岐阜版)

※前回の倫理委員会で結論が出ず、研究元へ質問状を送った。その結果をもって今回再度審議を行った。

(説明者：小児科 根岸 豊)

《審査結果》不承認

(意見) 小児科としては、全数調査が必要で、他の施設も協力するため、参加したいと考えているが、協力しないことで不利益はない。倫理委員会の審議の結論を待ちたい。個人情報の取り扱いについては「気をつけます」との回答しかないため、三次調査から直接面接官が来る。個人情報が特定されることは拒否せざるを得ないと考えている。

(意見) 岐阜大学に質問を投げかけた。死亡している患者さんにオプトアウトで同意をして役に立つのか。二次調査以降、個人の特定とつながる。文面としてはそうはならないとしているが、調査するとわかりますという内容でどうなのか問いかけたが、そうならないように対応したいという回答であった。具体的な回答はなく、回答としては個人の善意に頼るというものであった。必ずしも個人情報が担保されるような回答ではなかった。当院として参加を見送るという勧告を考えている。

(意見) 研究自体は異常死の方に力点があり、一次調査がカムフラージュ感を拭えないためどうかと思う。愛知県で行ったので岐阜県でもということだが、調査して色々検討することは良いが、異常死の個人に何らかが危惧されることは拭えない。